

令和 4 年度 東京都立荒川工業高等学校 定時制課程 学校経営報告

東京都立荒川工業高等学校長
西 牧 豊 実

1 今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

ア 学習指導の充実・工夫

【成果】

- (ア) 学習目標の明示及び振り返りの徹底による、自ら考える学習の実践
- (イ) 教科書を読ませる授業を実践することによる読解力向上及び主体的な学びの定着
- (ウ) 補習・補講を計画的に実施し、確実な基礎・基本の学力の定着
- (エ) 学習課題に応じて、外部人材を活用などした支援の実践
- (オ) 外部機関との連携による、ボランティアマインドの醸成
- (カ) 読書週間の設定による、本に親しむ態度や本を読む習慣の定着
- (キ) 外部機関と連携した租税に関する教育を実施し、生徒の生き方に対する指導充実

【課題】

- (ア) コロナ禍における安心・安全な補習計画の検討
- (イ) コロナ禍における教科「人間と社会」の円滑実施
- (ウ) 授業毎における「ねらい」「手立て」の提示
- (エ) 課題解決型学習（PBL）の実施に向けた計画検討

イ 進路指導の充実・工夫

【成果】

- (ア) キャリア教育の組織的・計画的実施の実現
- (イ) ハローワークや企業と連携し、マナーやコミュニケーション能力向上
- (ウ) コロナ禍における企業見学の実施
- (エ) コロナ禍における資格取得に向けた補習・補講の実施

【課題】

- (ア) コロナ禍におけるインターンシップ及び企業見学実施方法の検討
- (イ) 免許・資格の取得、各種検定の合格者増を目指す指導の充実

ウ 生活指導の充実・工夫

【成果】

- (ア) カウンセリングマインドを基本に生徒に寄り添った適切な指導実現
- (イ) いじめ、暴力、自殺等の未然防止、早期対応に努め、問題行動ゼロ
- (ウ) スクールカウンセラーとの連携を強化したサポート体制の確立
- (エ) 生徒・保護者との三者面談を計画的に実施
- (オ) グループエンカウンターの実施により、1年生における人間関係のトラブルゼロ
- (カ) 心の教育やSNSの適正な利用に向けたセーフティ教室や保健教室実施

【課題】

- (ア) 生徒状況における職員間及びスクールカウンセラーとの情報共有
- (イ) コロナ禍における生徒の心のケアとストレスへの対応
- (ウ) オンライン学習体制の整備と生徒の生活課題の現状把握

エ 特別活動・部活動の充実・工夫

【成果】

- (ア) 荒川区連携事業にて生徒の自発的活動による活躍。ボランティア部の活動
- (イ) 生徒主体行事の「荒工祭」企画・立案の実現

【課題】

- (ア) コロナ禍における教科「人間と社会」の推進方法検討及び臨時時間割実施時における部活動の在り方
- (イ) 新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえた講話・講演方法の検討

オ 健康づくりの啓発

【成果】

- (ア) 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた学校の組織的な取組実現（校内感染者ゼロ）
- (イ) コロナ禍による予測困難な中で、健康づくりに関する取組を組織的・計画的に実施
- (ウ) (エ) コロナ対応（感染者や濃厚接触者）、食物アレルギー対応等の校内研修を実施し、全教職員で取り組む意識の醸成を図るとともに、生徒の健康課題を情報共有
- (オ) 感染症対策を講じた上での体力測定及び結果等を活用した健康指導の実施
- (キ) スクールカウンセラーと連携した全員面接実施。オンラインによるカウンセリングの実施に向けた態勢整備

【課題】

- (ア) コロナ禍における生徒の心身へのストレスを解消させる効果的な教育活動検討
- (カ) 保護者との連携による健全育成
- (ク) 食育を推進した、給食の喫食率向上（喫食率59%）

カ 生徒募集活動・学校広報活動の充実・工夫

【成果】

- (ア) 学科の特色を示した学校案内を作成
- (イ) 学校ホームページで「荒工通信」「あらこう散歩」を定期的に情報発信
- (ウ) コロナ禍における安心・安全を重視した体験入学実現（参加者3名）

【課題】

- (ア) 夜間定時制の魅力、安心した学習環境のPRなどを効果的に発信する方法の検討
- (イ) 本校卒業生を活用した広報活動の充実

キ 学校経営・組織体制の改善・充実

【成果】

- (ア) グランドデザインを見直し、生徒の実態に即した将来像を掲げ、完成
- (イ) いじめ・体罰・服務事故防止の各校内研修実施
- (ウ) 教職員の安心・安全を確保するための自宅勤務推進（取得率100%）
- (エ) 情報セキュリティ対策についての校内研修実施
- (オ) コロナ禍における全日制課程との教育活動における協働体制の検討
- (ク) 学校運営連絡協議会における意見や評価結果を教育活動に反映
- (ケ) 新たな時代に向けた教員の専門性及び授業力の向上（相互授業参観の推進）

【課題】

- (カ) コロナ禍における都立学校開放事業や公開講座の検討
- (キ) (コ) 働き方改革の視点による組織改編と分掌業務の可視化
- (サ) 指導上の課題について情報共有の徹底

(2) 重点目標と方策

ア 安全教育の推進

安全教育推進校としての実績を生かし、特色ある避難訓練やセーフティ教室を実施する

イ 学習課題の把握と授業力の向上

重点目標	方策及び具体的な取組	数値目標	達成：○ 未達成：×
生徒の基礎学力を把握と中途退学者の未然防止	個に応じてきめ細かな指導を実施する。1・2学年の数学・理科、1学年の電気基礎は少人数指導として学力の定着を図る。	学力不振による中途退学者0	○：0人
	放課後学習・長期休業中の補習・補講を計画的に実施する。	原級留置者0	○：0人
	始業前学習の実施による出席率の向上	出席率90%以上	○：92.8%
授業改善の組織体制を構築	I C T機器等を活用した授業の実施	各教科で実施	○：全教科
	教師道場や研究員を活用した研究授業や校内研修の実施	年2回以上	×：2回実施
学校図書館の利用や読書活動活性化	教科横断的に各教科の授業で図書館を活用し、本に親しむ習慣の獲得	不読率50%以下	○：5%
より良い生き方を主体的に選択する行動力の育成	地域や関係機関と連携し、教科「人間と社会」の指導内容・方法を工夫改善	成果発表会実施	○：実施
	外部機関と連携した主権者教育の実施	年1回以上	○：1回実施

ウ キャリア教育の充実と免許・資格の取得・検定合格

重点目標	方策及び具体的な取組	数値目標	達成：○ 未達成：×
生徒一人ひとりの適性に応じた進路希望の実現	生徒一人一人の進路希望を把握する。	進路決定率100%	○：100%
	○個々の生徒への適切な就労支援 ○社会人として求められるマナーやコミュニケーション能力を高める。	就職決定率100%	○：100%
	インターンシップへの積極的参加	1名以上参加	×：未実施
	ハローワークと連携した進路講話実施	年2回以上	○：6回実施
国家資格の合格	電気工事士（第一種、第二種）	3名以上	×：2名合格
	特殊無線技士	3名以上	○：3名
	工事担任者（DD3種、AI3種等）	3名以上	×：0名
	危険物取扱者（丙種、乙種）	各1名以上	○：3名
各種検定	計算技術検定・情報技術検定	10名以上	×：2名
各種制度の認定	ジュニアマイスター顕彰制度	1名以上	○：1名

エ 規範意識の向上と良好な人間関係構築

重点目標	方策及び具体的な取組	数値目標	達成：○ 未達成：×
生活指導の充実	いじめ・生命の尊重を目的とした全校集会	年3回以上	○：3回実施
	SNS使用についての研修会	年3回以上	○：3回実施
基本的な生活習慣確立	登校時の校門指導（皆勤生徒の増加）	各クラス3人以上	○：平均3.5人
	粘り強い遅刻指導	年間遅刻延べ回数750回	×：794回
特別な支援を必要とする生徒の共通理解	スクールカウンセラーと連携した校内研修	年2回以上	×：未実施
	グループエンカウンターの実施	年2回以上	○：2回実施
学校教育相談体制の構築	児童相談所、子供家庭総合センター等の外部機関や家庭と連携し、生活課題のある生徒の問題行動について情報共有を図る。	月1回以上	×：10回
安全教育の推進と中途退学者の未然防止	外部関係機関と連携し、セーフティ教室、薬物乱用防止教室、交通安全教室を行い、非行防止や犯罪被害の防止に取り組む。	中途退学者0	×：2人

オ 特別活動・部活動の活性化

重点目標	方策及び具体的な取組	数値目標	達成：○ 未達成：×
学校行事の充実	内容を精選し、計画的に実施する。	参加率90%以上	○：97%
オリンピック・パラリンピック教育推進	各ボランティア活動へ積極的に参加させ、自発的な貢献力を育成する。	年3回以上	○：5回
障がい者理解	障がい者スポーツ選手の招聘	年1回以上	×：0回
部活動の活性化	各種競技大会・コンテスト等への積極的な参加を促し、入賞体験等を通じて自己肯定感や達成感を味あわせる。	各部活動年2回以上	○：2回
	部活動紹介や全国大会壮行会などを実施し、帰属意識を高める。	加入率75%以上	○：84%
	生徒対象の熱中症防止研修等を実施する。	重大事故ゼロ	○：事故ゼロ

カ 生涯にわたる心身の健康の保持増進

重点目標	方策及び具体的な取組	数値目標	達成：○ 未達成：×
学校保健計画に基づき、生徒の心身の関わる健康づくりの推進	薬物乱用防止教室	年1回以上	○：1回実施
	飲酒・喫煙防止教室	年1回以上	○：1回実施
	感染症等罹患防止の注意喚起と情報発信	時季応じて実施	○：適宜実施
	食物アレルギーに関する校内研修を実施し、緊急時の組織体制の確立	年間2回以上	○：2回実施
	「保健だより」の定期的な発行	年6回以上	○：12回

キ 専門高校の魅力を発信する広報活動と生徒募集対策

重点目標	方策及び具体的な取組	数値目標	達成：○ 未達成：×
学校の魅力を効果的に 発信する広報活動の推 進と生徒募集対策の充 実	全教員体制で実施する中学校訪問	50校以上	×：32校
	ホームページからの情報発信	週1回以上	○：2回以上
	各科を分かりやすく解説した学校案内 作成	7月までに完成	○：完成
	学校説明会	年5回以上	○：実施
	授業公開		
	体験入学		
	夏休み親子教室	年1回以上	○：1回
中学校の教職員や塾教員を対象にした 学校説明会・見学会	年1回以上	×：未実施	
「荒工通信」を発行し、保護者地域へ学 校魅力を発信する。	年6回以上	×：4回	

ク 学校課題解決に向けたチーム力の強化

重点目標	方策及び具体的な取組	数値目標	達成：○ 未達成：×
課題解決に向けたチー ム力の向上とチーム効 力感の情勢	サービス事故の防止や教育課題等を目的と した校内研修	年5回以上	○：5回実施
	個人情報の管理徹底を目的とした 校内研修	年2回以上	○：3回実施
	全日制課程との協働体制を推進する各 種連絡会の実施	随時	○：随時実施
図書館環境の維持管理	図書館の利用促進を図る読書週間の設 定	不読率50% 以下	○：0%
ライフ・ワーク・バラ ンスの推進と業務の効率 化	各分掌主任の連携による会議時間の短 縮	月在校60時間超 えの教員ゼロ	○：ゼロ
	閉庁日の設定や計画的な年休取得		